



予定より1日早いですが

1学期が何とか終了！

コロナウィルス第6波が猛威をふるう4月にスタートした令和4年度の1学期。本校でも感染者が確認され、入学式への在校生不参加、市内一周継走辞退、授業参観中止など、スタートから大きな影響を受けました。その後、徐々に感染者数は減少したものの、部活動の時間制限は続き、休日の練習試合も思うようにできない日々が続きました。そんな中でも、生徒たちは、感染防止対策を地道に継続するとともに、可能な範囲で生徒会活動や部活動を行ってきました。5月14日には予定通り臯月祭が開催され、3年生を中心に各組団が練習の成果を発表することができました。実施できて本当によかったです。しかし、地区中総体に向けて練習が佳境に入っていた6月上旬、近隣高校でのコロナ感染のあおりを受け、濃厚接触者が自宅待機となりました。オンライン授業が通常となっていたこともあり、学力保障といった面では対応はできたものの、大会直前に貴重な練習時間を失ったのは大きな痛手でした。そして今回、BA5の第7波を受けて終業式を1日早めるという結末。まさにコロナに翻弄された1学期でした。決して満足のいく学期ではありませんでしたが、大きな事件・事故、災害が無く、無事に終了できたことが何よりの喜びです。

ネット・ゲーム依存対策

本校においてもネット・ゲーム依存が疑われる生徒が確認されていることから、その未然防止・早期発見・早期対応を図ることを目的に、全校生徒対象のスクリーニングテストと、三者面談を利用した親子での啓発動画視聴を実施しました。

この分野では有名な未来の風せいわ病院の鈴木りほ先生にご協力をいただき、病院でも治療プログラムの効果判定に使っている「10問版インターネットゲーム障害テスト」で自身の依存度をチェックし、その結果と動画視聴をもとに親子で使い方を見直してもらうというものでした。資料として配付した専門誌の記事にも、「何気なく買い与えているスマホや、制限をかけずに使用させているインターネットの先にどんな危険が潜んでいるかリスクを知っていただき、子どもと話し合い、どうやって高度情報化社会と付き合いしていくのか一緒に考えてほしい。」と記されています。夏季休業中は自由な時間が増え、ネット・ゲーム利用も増えると思われます。利用時間を適切にコントロールし、お子さんのネット・ゲーム依存を防止していただきたいと思います。



	平均	5点以上の人数
1年生	3.53	33人(31.0%)
2年生	2.51	19人(14.4%)
3年生	3.09	26人(23.2%)

10問版インターネットゲーム障害テストの結果
(5点以上が依存が疑われるレベル)